

小学校中学年 ～高学年向け 年 組

(2023年5月13日付・下野新聞1面)

甘み、みずみずしさ十分

那須塩原市塩原地区で
特産品「塩原かぶ」の収
穫が始まっている。
塩原かぶは標高550～600mの高地で栽培される高原野菜。昼夜の寒暖差によって甘みが増し、みずみずしく柔らかい食感になるという。中塩原、上塩原の農家でつくる塩原そ菜生産出荷組合の君島敏組合長

山あいの畑で早朝から収穫される「塩原かぶ」12日午前5時20分、那須塩原市中塩原、河野
光吉撮影
電子版に動画
SOON



高地栽培「塩原かぶ」収穫進む

(70)の畑では、例年より1週間ほど早く、7日から収穫を開始。12日は日の出前の午前4時ごろから、妻のマリ子さん(66)、息子の徹さん(37)と約20㎡の畑の一部で手作業で収穫した。

収穫したカブはサイズにより3、5、7株ずつ束ね、この日は約600束になった。その後に洗浄し、乾かして箱に詰めた。

君島組合長は「今年は自然災害などもなく、これまでにないほど出来が良い」と笑顔で話した。

君島組合長の畑では6月20日ごろまで収穫が続く予定。宇都宮市を中心に、県内外へ出荷される。

(鈴木航)

設 問

【1】本記事に出ている「かぶ」の生産地はどこですか。市町村名を答えてください。

【2】「塩原かぶ」はどんな野菜ですか。()にあてはまる言葉を、記事の中から抜き出して書きましょう。
塩原かぶは、高地で栽培される()である。昼夜の()によって甘みが増す。

【3】次の文章のうち、記事から読み取れるものには○を、読み取れないものには×を書きましょう。
・ア 君島敏さんの畑では、全て機械でかぶを収穫している。
・イ 今年(2023年)の塩原かぶの収穫は自然災害に

多く見舞われ、出来がよいとはいえない。
・ウ 君島敏さんの畑で収穫されたかぶは、洗浄し、乾かした後に箱につめられる。
・エ 君島敏さんの畑で収穫されたかぶは、栃木県にのみ出荷される。

【4】塩原地区の土地と気候の特徴について正しい文章を次のア～エの中から一つ選びましょう。
・ア 塩原地区は、低いところにある土地であり、昼夜の寒暖差があまりない。
・イ 塩原地区は、低いところにある土地であり、昼夜の寒暖差が大きい。
・ウ 塩原地区は、高いところにある土地であり、昼夜の寒暖差があまりない。
・エ 塩原地区は、高いところにある土地であり、昼夜の寒暖差が大きい。